



地域おこし協力隊

資源循環と農産物の高付加価値化推進事業担当

安芸高田市で、夢を抱いて様々な活動に取り組み挑戦者たち。彼ら突き動かす原動力とその熱い想いに迫ります。

私の大好きな景色を作ってくれ農家さんの力に少しでもなりたい

地域営農課

渡部 わたべ

太郎 たろう

5日間かけて作る自家製おでんは絶品との噂です



凝っているもの 今年から始めた果実酒づくり。梅酒を皮切りにイチジクやザク口など季節のものも作りました

好きな景色 安芸高田市で眺める空。星空の美しさに驚いたそうです。写真は渡部さんが美土里町で撮影したもの

趣味 大好きな読書は月に5~6冊。お気に入りには島田ルウナさんの「ありがたい まいこち」

命の根源である食物に欠かせない「堆肥」にかける熱い想い

アパレル業界で生産管理などに携わり、24年のキャリアを持つ渡部さん。20年間を東京で、10年間を湘南で過ごしました。めまぐるしい日々を過ごしていた渡部さんに転機が訪れたのは、湘南に移り住んだからのこと。「農家や漁師など、一次産業に携わる方々の知り合いができ、そのうち仕事も手伝うようになりました。『生きよう』ということに直結した仕事があったと思うようになったのは、この頃です」と振り返ります。渡部さんは呉市生まれ、大野町育ち。広島県、雨災害の際、ボランティアで帰郷したのを機に、地元に戻ることを決めました。農業を学ぶため、徳島の有機農業を営む農家で半年間経験を積んでいた時、その農家さんが常々口にしていたのが堆肥の重要性。「それまでは堆肥と肥料の違いも分かりませんでした。堆肥は作物を作る土台となるもので、いい堆肥は水はけを良くしたり、雑草を生えにくくすることもできます。作業性の安定や効率を左右する大切なものでした。地域おこし協力隊に応募したのも、とにかくいい堆肥を作りたいとの想いから。今は竹チップを使った堆肥を試験的に作り、関心を持って頂いた農家さん数件に使ってもらいながら実証を行っています。「私はこの安芸高田市の景色が大好き。いい堆肥を作ること、この景色を作ってくれている農家さんのお役に立つことができたらうれしいです」と話しました。

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

政策企画課 広報・ICT係
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田 791 番地
☎42-5627 ☒42-4376

HOTな話題



10月14日(土)
高宮ハーモニー広場
第45回高宮神楽まつり

町内で活動する6神楽団に加え、佐伯区湯来町の下五原神楽団が特別出演。大蛇が空から舞い降りる演出で、会場は大いに盛り上がりました。



10月1日(日)~7日(土)
クリスタルアーヂョ

第11回あきたかた市民文化祭
「展示芸術の祭典」

今年は、絵画や生け花、パッチワークなど過去最高の488点を展示。期間中1128人が来場し、市民の方々の作品を鑑賞しました。

オープニングを飾った安芸高田市消防音楽隊



10月8日(日)
甲田文化センターミュージアム前広場

第29回こうだわいわい祭
第49回商工祭

秋晴れの中、家族連れを中心とした約1700名が来場。多彩なステージイベントの他、閉校する3つの小学校のパネル展示も行われました。

10月22日(日)
高宮ハーモニー広場



第35回たかみや大地の祭り

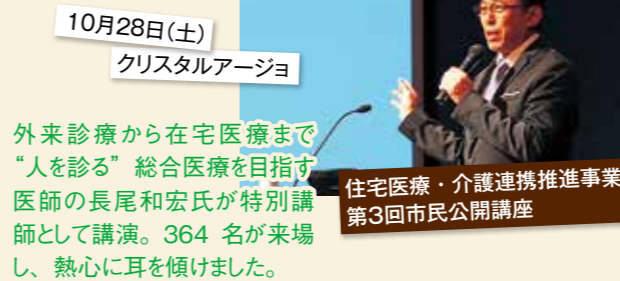
毎年恒例の長巻き寿司は217mに挑戦し、見事成功。今年は高宮中学校の全校生徒が参加し、駄菓子やオムそばを販売しました。



10月8日(日)
吉田運動公園

みつフェス~みつやの里スポーツクラブ大交流会~

多彩なスポーツが楽しめる体験型イベント。サンフレッチェ広島アンバサダーの森崎浩司さん参加のスペシャルマッチや、スラックラインの世界チャンピオン、大杉徹さんのパフォーマンスなどで盛り上がりました。



10月28日(土)
クリスタルアーヂョ

外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合医療を目指す医師の長尾和宏氏が特別講師として講演。364名が来場し、熱心に耳を傾けました。

住宅医療・介護連携推進事業
第3回市民公開講座